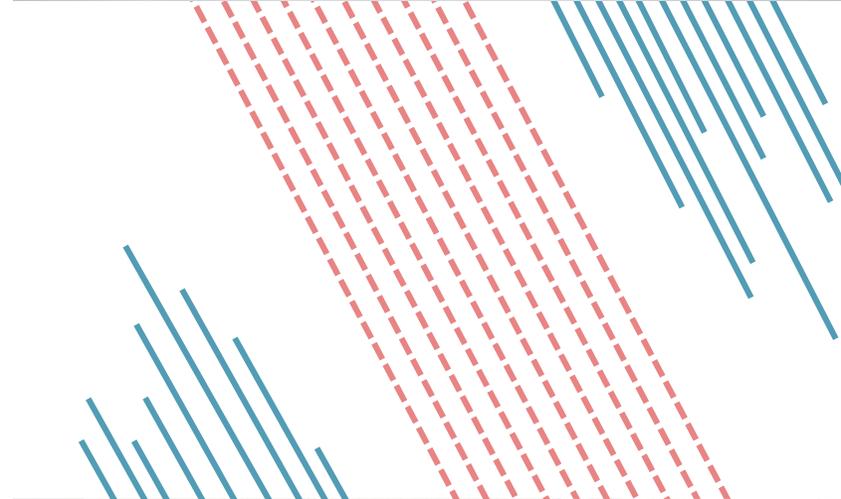
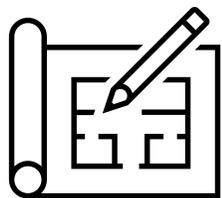


明 園 小 学 校
新 築 工 事

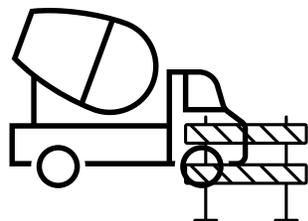




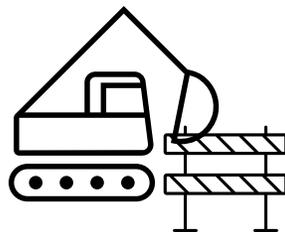
step
01
基本・実施設計



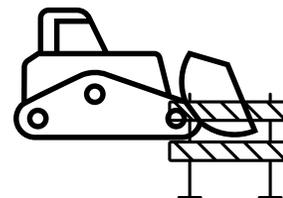
step
02
校舎新築ほか工事
(1期:校舎)



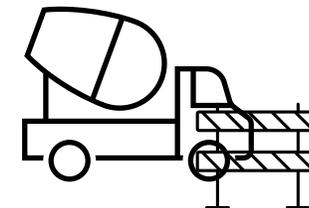
step
03
旧校舎解体工事



step
04
グラウンド整備工事
※下水道河川局事業推進部発注



step
05
校舎新築ほか工事
(2期:給食室・児童会館)



01 事業の概要

明園小学校は、校舎の老朽化が進んでいることから、教育環境の改善を目的とした新しい校舎及びグラウンドを整備します。

今回の事業の特徴は、新築工事が2期にわたる点です。1期工事では新校舎の主要部分を建設し、2期工事では多目的室、給食室、児童会館、多目的ホールなどの施設を整備します。段階的に施設を整備することによって、児童の安全と教育活動の継続を維持しながら、工事を進めています。

建築工事課のお仕事

基本設計・実施設計

新築工事では、複数の設計会社からの業務提案書をもとに設計会社を選定します。設計中は地域や関係部局と協議しながら計画を進めます。設計会社と密に連携し、設計の各段階での進捗確認や図面等の確認・承認を行い、必要に応じて修正指示を出します。

新築工事・解体工事

新築工事・解体工事では、担当職員が監理者(設計会社)や工事業者と協力し、進捗、品質、安全、予算、スケジュールを管理します。問題が発生した場合は、迅速に対応します。

02

新校舎の概要

所在地 東区北19条東14丁目1

工事業者(建築) 伊藤組土建 株式会社

設計会社(建築) 株式会社 都市設計研究所

工事期間 令和5年10月～令和7年2月

延べ面積 約5,800㎡

用途 ①校舎 ②児童会館





01
JAN
2024

杭工事



04
APR
2024

基礎工事



07
JUL
2024

躯体工事



10
OCT
2024

内装工事



11
NOV
2024

足場解体



02
FEB
2025

完成！

03

校舎新築工事の工程

04



新校舎外部イメージパース



1期工事

2期工事

色名:百合が原

色名:生チョコ

色名:新雪

建築工事課のお仕事

札幌市の景観を守るため、新しい校舎の外観色は札幌市が定める景観70色から選ばれます。学校の色彩計画では、地域の景観にふさわしい外観色の候補を考え、教育委員会の職員とともに検討を行います。また、景観70色の選定を行う他の部署とも協議し、最終的な外観色を決定します。

point
01 コンパクトで周囲の街並みと
調和する校舎

敷地中央に建設するコンパクトな配置で、周囲への圧迫感を抑え、事業費を縮減しています。外部の色彩計画は周囲の街並みと調和するアイボリー系、校木であるトドマツから連想されるブラウン系を基調としています。

point
02 明るく木を積極的に使った
内部空間

内部空間は中心に配置された光庭から光が入ることで、明るい校舎内になっています。1階ホールやトイレ、案内板などに木材を多く使い、木質化を目指しています。

point
03 休み時間に子どもたちが
集まるトイレ

子どもたちに一番人気があるトイレは、大きな窓や対面式の手洗い、各階で異なる化粧木材や、木製ルーバー壁を採用し、「暗くて狭い」イメージから、「明るくて広い」イメージの空間になっています。

05 新校舎のこだわりポイント

足場解体



ポーチ タイル施工



建築工事課のお仕事

工事期間中、担当職員は工事業者、監理者（設計会社）、学校と週1回の定例会議を行います。定例会議では、学校行事と工事のスケジュール調整や、内装や建具の色や素材など、学校からの要望を聞き取り、工事業者と監理者（設計会社）からの専門的な助言を受けながら、要望をかなえるためのサポートを行います。

また、会議終了後には工事現場の進捗状況を確認するための現場視察を行い、工事が順調に進んでいるかどうかを確認します。

06 工事中の様子

昇降口前 外構工事



オフィスオートメーション(OA)フロアの施工



擁壁 立ち上がりコンクリート打設



スラブコンクリート 定規ずり



伊藤組土建 株式会社
現場代理人
小野寺さん

Interview

伊藤組土建 株式会社
主任
小石さん

07

施工者インタビュー

Q1

明園小学校改築工事の現場代理人に任命されてたときのお気持ちを教えてください。

A1

当社では札幌市さんの小学校建設に多く関わらせて頂いていたので、何れ自分も担当する時が来るかなと思っていた矢先の任命でした。まずは無事故で引き渡そうと小石主任とは話してました。

Q2

工事での苦勞した点を教えてください。

A2

冬期間の掘削工事ではダンプの確保から始まります。札幌市では1シーズンに400cmを超える降雪があるため、ダンプの確保に苦勞しました。

Q3

工事で工夫した点を教えてください。

A3

作業員への事故防止のため、毎日全員に声掛けを行いました。また、近隣住民への不安解消や周知のため、デジタルサイネージを使用し、騒音・振動計の表示や週間工程の周知を行いました。これからの未来を支える子供たちに建設業へ興味を持ってもらうのに最適な環境なのでいつも見てもらっている事を意識して、現場を動かしていました。

伊藤組土建 株式会社
現場代理人
小野寺さん

Interview

伊藤組土建 株式会社
主任
小石さん

07

施工者インタビュー(つづき)

Q4

工事のやりがいを教えてください。

A4

建物が出来上がっていくところを見て感動してもらったとき、建物を引き渡したときのお客様(先生・生徒)が喜んで顔をみれるところです。

Q5

工事での発注者(札幌市)や設計者(都市設計研究所)とどのように関わって工事を進めているか教えてください。

A5

札幌市や教育委員会のルールに基づいて設計をしていますが、学校側の要望や設計者の考えなどをもとに打合せを重ねて最適な方法を模索しながら物事を決定させて工事を進めています。

Q6

明園小の子供たちへひと言お願いします。

A6

工事でグラウンドを奪われたり、ちょっとうるさい中での授業になったり制限される環境下での学校生活になるなか、新しい校舎では授業を受けることが出来ない6年生限定で工事中の学校内へ案内いたしました。子供たちが現場に入ってきて、工事について質問したり、コンクリートの壁にメッセージを書いたりする姿を見て、見学会を開催して良かったと感じました。また、建設業に興味を持ってくれる子が増え、一人でも仲間になってくれると嬉しいです。工事は残り5ヶ月(インタビュー当時)となりましたが、無事故で完成させて、卒業前にもう一度新校舎を見学してもらい、建設業の素晴らしさを体感してほしいと思います。



08

現場見学会の様子

明園小学校の6年生が現場見学に来てくれました！

施工者から工事に携わる職人たちの説明を受けた後、新校舎の躯体（構造体）にそれぞれの思いを書き残してくれました。

子どもたちは、未来の自分たちや後輩たちへのメッセージや、学校生活の思い出を躯体に書き込んでいました。新校舎が完成すると内装でメッセージは隠れてしまいますが、完成した校舎の中で、その思いが未来へと受け継がれていくことでしょう。





見学会の様子

札幌市立大学デザイン学部の学生さんが現場見学会に参加してくれました！
施工会社から、工事に関する詳細な説明や建設業の魅力についてのプレゼンテーションを受けた後、新校舎の内部を見学しました。施工中の現場では最新の建築技術や設計の工夫を間近で見ることができました。

08 ● 現場見学会の様子





09

新
校
舎

外 観

完
成





多目的室(少人数)



廊下



09

新校舎完成

内観



昇降口



便所前室



保健室



ワークスペース



職員室



階段



多目的便所



ホール



家庭科室



普通教室